

科目名	グルーミング演習 I 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤
学科・コース	動物看護科昼二3年制	授業 形態	演習	総時間 (単位)	2		
教員の略歴	ペットサロン、ペットショップ、動物病院勤務						
授業の学習 内容	プロトリマーになるうえで必要な基礎グルーミングの技術を習得することができます。 また、2年次に向けたトリミング技術の向上を目指します。 技術の向上だけでなく、接客、犬のコントロール、コミュニケーション能力を学ぶことができるのがこの授業の特徴です。						
到達目標	犬のコントロールや犬種別のグルーミングの基礎技術を習得することができます。また、グルーミングの基礎技術を生かし、主に2年次で学ぶトリミング技術の基礎を習得することができます。						
評価方法と基準	14週目に実技試験 前期:グルーミング犬種の足周りカットまでで1時間半、後期:トリミング犬種の足周りまでで1時間半) ク、コントロール、ツールの扱いの基礎が時間内に終わられるようになること (前 ペーシッ						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ツール配布・説明 (ツールの基本的な扱い方、授業の目的について学ぶ)	配布されたツールの名前や使い方などの復習
2		演習	ベーシックを中心にグルーミングをし、流れを覚え実践することができる。	トリミング日誌の記入&提出
3		演習	流れを復習しながらグルーミングを行うことができる	トリミング日誌の記入&提出
4		演習	ベーシックを中心にグルーミングをし、クリッピングや爪切りの技術を習得することができる	トリミング日誌の記入&提出
5		演習	シザーを使い足周りのカットの技術を習得することができる	トリミング日誌の記入&提出
6		演習	クリッピング及び爪切りをステップアップし、スピードアップを計ることができる	トリミング日誌の記入&提出
7		演習	足先バリカンの技術の習得をすることができる	トリミング日誌の記入&提出
8		演習	前回までの足バリ、クリッピング及び爪切りのステップアップを計ることができる	トリミング日誌の記入&提出
9		演習	前回までの足バリのステップアップを計り、時間は1本5分に設定する	トリミング日誌の記入&提出
10		演習	前回までの足バリのステップアップを計り、足周りのカット、飾り毛のカットを習得する	トリミング日誌の記入&提出
11		演習	前回までのベーシックを中心に足周り及び飾り毛のカットのスピードアップを計る	トリミング日誌の記入&提出
12		演習	ベーシックを中心に、足周り及び飾り毛のカットを確実に習得することができる	トリミング日誌の記入&提出
13		演習	試験前にトータル時間及び仕上がり確実にし、問題点を解決を目指す	トリミング日誌の記入&提出
14		試験	グルーミング犬種のベーシックを中心に1時間半で行う	トリミング日誌の記入&提出
15		演習	半期の振り返り	トリミング日誌の記入&提出
準備学習 時間外学習			トリミング日誌の記入&提出で充当	
【使用教科書・教材・参考書】 各シザー、スリッカーなどのツール				

科目名	グルーミング演習 I 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤
学科・コース	動物看護科昼二三年制	授業 形態	演習	総時間 (単位)	2		
教員の略歴	各講師ペットサロン、ペットショップ、動物病院勤務						
授業の学習 内容	プロトリマーになるうえで必要な基礎グルーミングの技術を習得することができます。 また、2年次に向けたトリミング技術の向上を目指します。 技術の向上だけでなく、接客、犬のコントロール、コミュニケーション能力を学ぶことができるのがこの授業の特徴 です。						
到達目標	犬のコントロールや犬種別のグルーミングの基礎技術を習得することができます。また、グルーミングの基礎技術を生かし、主に2年次で学ぶトリミング技術の基礎を習得することができます。						
評価方法と基準	14週目に実技試験 期:グルーミング犬種の足周りカットまでで1時間半、後期:トリミング犬種の足周りまでで1時間半) ク、コントロール、ツールの扱いの基礎が時間内に終えられるようになること						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ツール配布・説明 (ツールの基本的な扱い方、授業の目的について学ぶ)	配布されたツールの名前や使い方などの復習
2		演習	ベーシックを中心にグルーミングをし、流れを 覚え実践することができる。	トリミング日誌の記入&提出
3		演習	流れを復習しながらグルーミングを行うことができる	トリミング日誌の記入&提出
4		演習	ベーシックを中心にグルーミングをし、クリッピングや爪切り の技術を習得することができる	トリミング日誌の記入&提出
5		演習	シザーを使い足周りのカットの技術を習得することができる	トリミング日誌の記入&提出
6		演習	クリッピング及び爪切りをステップアップし、スピードアップ を計ることができる	トリミング日誌の記入&提出
7		演習	足先バリカンの技術の習得をすることができる	トリミング日誌の記入&提出
8		演習	前回までの足バリ、クリッピング及び爪切りのステップアップ を計ることができる	トリミング日誌の記入&提出
9		演習	前回までの足バリのステップアップを計り、時間は1本5分に設 定する	トリミング日誌の記入&提出
10		演習	前回までの足バリのステップアップを計り、足周りのカット、 飾り毛のカットを習得する	トリミング日誌の記入&提出
11		演習	前回までのベーシックを中心に足周り及び飾り毛のカットのス ピードアップを計る	トリミング日誌の記入&提出
12		演習	ベーシックを中心に、足周り及び飾り毛のカットを確実に習得 することができる	トリミング日誌の記入&提出
13		演習	試験前にトータル時間及び仕上がりを確実にし、問題点を解決 を目指す	トリミング日誌の記入&提出
14		試験	グルーミング犬種のベーシックを中心に1時間半で行う	トリミング日誌の記入&提出
15		演習	半期の振り返り	トリミング日誌の記入&提出

準備学習 時間外学習

トリミング日誌の記入&提出で充当

【使用教科書・教材・参考書】 各シザー、スリッカーなどのツール

東京コミュニケーションアート専門学校

科目名	ドッグトレーニング演習 I 1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	安齋 裕己
学科・コース	動物看護科 昼二三年制	授業 形態	演習	総時間 (単位)	2		
教員の略歴	元嘱託警察犬訓練士、現在は 家庭犬訓練教室を開業						
授業の学習 内容	犬のトレーニングに必要な基礎知識を理解するための講義と、実際に犬を使った演習を行うことによりより深くトレーニングを理解する授業です。 自分自身がしっかりとトレーニングを理解する事により、犬が理解しやすいトレーニングを習得します。 ※ 実際に犬を使ったトレーニングを行う授業のため、内容に変更のある場合があります。						
到達目標	犬の本能を利用したトレーニング方法を使い、基本動作を犬に教えることが出来る。 後期及び、進級後に備えアマチュアにトレーニング方法を理解しやすく説明出来る様になる。						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験(筆記試験) 60% 講義・演習中の態度及び、トレーニング成果 40% 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	担当犬の理解 (実際に犬と接することにより、性格を読み取り犬具の装・脱着が出来る)	学校飼育犬及び、担当犬の管理
2		講義・演習	招呼(呼び戻し)を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
3		講義・演習	誘惑がある状況での招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
4		講義・演習	脚側意識の基礎を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
5		講義・演習	脚側行進の基礎を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
6		講義・演習	ハウスを教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
7		講義・演習	伏臥を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
8		講義・演習	脚側意識の応用を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
9		講義・演習	脚側行進の応用を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
10		講義・演習	声符・視符を正しく使うことが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
11		講義・演習	JKC 家庭犬訓練試験の規定を理解する	学校飼育犬及び、担当犬の管理
12		講義・演習	JKC CD-1の規定を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
13		講義・演習	JKC CD-1の規定を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
14		講義・試験	試験 (筆記試験)	学校飼育犬及び、担当犬の管理
15		講義・演習	前期の講義と演習を振り返り、総合的な理解を深める	学校飼育犬及び、担当犬の管理
準備学習 時間外学習			学校飼育犬の飼育当番及び観察で充当	
【使用教科書・教材・参考書】 犬具一式 ・ 筆記用具 ・ トレーニング日誌				

科目名	ドッグトレーニング演習 I 2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	古銭
学科・コース	動物看護科 昼二三年制	授業 形態	演習	(単位)	2		
教員の略歴	動物病院にて、家庭犬トレーニングを行っている						
授業の学習 内容	異文化コミュニケーション: 犬との違いを知り、お互いを理解する授業です。また、犬と飼い主の良き理解者になるための授業でもあります。知識のみならず、心技体を絶えず意識して授業に参加してください。そしていつも自分で考え工夫する努力を忘れないでください。						
到達目標	自分を飼い馴らし、犬を飼い馴らす。飼い主を選ぶことのできない犬の本当の理解者になる。犬文化後進国・日本での犬文化の向上に貢献する。動物病院など現場のニーズを考えたトレーニング方法を身につける。						
評価方法と基準	出席率80% 実技テスト20%(基本的な犬の扱いがリード・首輪を使い出来る)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	犬はどのような動物か理解することが出来る。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
2		講義・演習	犬と人の違いを理解することが出来る。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
3		講義・演習	犬の時間・一生を考えることができる。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
4		講義・演習	犬の心を育てるトレーニング方法を身につけることが出来る。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
5		講義・演習	犬から何を学ぶことが出来るかを理解することが出来る。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
6		講義・演習	犬とはどのような人を尊敬するかを理解することが出来る。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
7		講義・演習	犬が人に注目するような進退の動き、使い方を理解することが出来る。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
8		講義・演習	犬と人の距離のとりかたを理解できる。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
9		講義・演習	犬はどのような空間を好むのか理解できる。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
10		講義・演習	犬は人との共同作業が好きという概念を理解できる。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
11		講義・演習	犬らしい犬を育てるとい言葉の意味を理解し実践できる。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
12		講義・演習	犬に仕事を与えるということを理解し実践できる。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
13		講義・演習	犬のきもちを理解し、トレーニングを行うことが出来る。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
14		講義・演習	試験	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
15		講義・演習	振り返り	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
準備学習 時間外学習		学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	実験動物学	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長嶺幸 介
学科・コース	動物看護科昼二三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	競走馬牧場・乗馬クラブ・総合ペットショップ勤務、現在は移動動物園や動物関連番組の監修等をしている						
授業の学習 内容	産業動物の歴史や品種、それぞれの飼育管理法、生理・習性などを含む生態、疾病などを理解することによって、産業動物を扱い管理できるようにする。また、畜産業と社会との関わりを学ぶことによって、業界の現状を把握し動物福祉と看護師の関わりを考えることができる。						
到達目標	畜産業について理解し説明できる。産業動物の福祉について理解し説明できる。各産業動物の歴史、品種、生理・習性などを含む生態、飼育管理法、疾病などを理解し説明できる。						
評価方法と基準	定期試験100% 60点以上で合格。再試験は当日の公欠が認められた者のみ。追試験は1回本試験と同じ問題で行う。60点以上で合格。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	導入(授業について)、畜産業とは	授業の復習(ノート整理)
2		講義	各論: 綿羊(歴史・品種)	授業の復習(ノート整理)
3		講義	各論: 綿羊(解剖・生理・習性)	授業の復習(ノート整理)
4		講義	各論: 綿羊(飼養管理・疾病)	授業の復習(ノート整理)
5		講義	各論: 山羊(歴史・品種)	授業の復習(ノート整理)
6		講義	各論: 山羊(解剖・生理・習性)	授業の復習(ノート整理)
7		講義・実習	各論: 山羊(飼養管理・疾病)	授業の復習(ノート整理)
8		講義	各論: 豚(歴史・品種)	授業の復習(ノート整理)
9		講義	各論: 豚(解剖・生理・習性)	授業の復習(ノート整理)
10		講義	各論: 豚(飼養管理・疾病)	授業の復習(ノート整理)
11		講義	各論: 鶏(歴史・品種)	授業の復習(ノート整理)
12		講義	各論: 鶏(解剖・生理・習性)	授業の復習(ノート整理)
13		講義・実習	各論: 鶏(飼育管理・疾病)	授業の復習(ノート整理)
14		定期試験	筆記試験	前期ノート見直しと理解
15		講義	振り返り	疑問点などの最終確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
必要に応じて随時書籍等を使用。また必要に応じて飼育室より動物たちを借りる。				

科目名	動物形態機能学 I 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	河南圭子
学科・コース	動物看護科昼二3年制	授業 形態	講義	(単位)	2		
教員の略歴	① 獣医師 ② 製薬会社 創薬研究所勤務 (実験動物の安全性評価・毒性試験・病理検査担当)						
授業の学習 内容	動物看護の基盤となる動物のからだのしくみと生理機能について学習する。動物の病気を早期に発見または理解するには正常な動物の状態を知ることが大切であり、病的変化について学ぶ基盤を確立する。						
到達目標	① 哺乳動物・鳥類を中心とした正常な細胞、組織、器官の構造および機能を理解し説明することができる。 ② 光学顕微鏡下でのミクロレベルでの細胞機能、組織構造を理解し、説明することができる。						
評価方法及び基準	① 定期試験 50%(14週目に筆記試験を実施) ② 中間試験 20%(7週目に筆記試験を実施) ③ 授業態度・出席数 30%						

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	動物形態機能学の目的を理解し、脊椎動物の分類、解剖学用語を理解し使うことができる。	動物看護の教科書 第2巻 P2-4
2		講義・演習	各動物種の骨格の名称と機能について説明できる。骨の成長と関節の役割について述べるができる。	動物看護の教科書 第2巻 P32
3		講義・演習	細胞の構造と機能、細胞膜、細胞小器官の役割について述べるができる。	動物看護の教科書 第2巻 P6-9
4		講義・演習	動物の組織の種類と上皮組織、筋組織、結合組織について説明することができる。	動物看護の教科書 第2巻 P10-16
5		講義・演習	結合組織に含まれる組織と骨組織、軟骨組織の構成組織を説明することができる。	動物看護の教科書 第2巻 P28-31
6		講義・演習	筋肉の種類と各特徴、筋収縮、エネルギー産生について説明することができる。	動物看護の教科書 第2巻 P47-48
7		講義・演習	中間試験(筆記試験と解答解説)・振り返り	これまで実施した練習問題の復習
8		講義・演習	皮膚とその役割、構造について説明することができる。	動物看護の教科書 第2巻 P49-52
9		講義・演習	循環器を構成する臓器と心臓の構造、心臓内の血液の流れ、刺激伝導系について説明できる。	動物看護の教科書 第2巻 P53-56
10		講義・演習	血液循環の種類と血管の種類・特徴、血圧上昇時の血管について説明できる。	動物看護の教科書 第2巻 P84-86
11		講義・演習	血液の役割と構成成分が説明でき、血球の種類、血漿成分・止血・血液凝固についても説明ができる。	動物看護の教科書 第2巻 P57-59
12		講義・演習	リンパ系の構造と機能リンパ組織に含まれる器官とその部位の特徴について説明できる。	動物看護の教科書 第2巻 P60-62
13		講義・演習	体液のバランスと泌尿器系の構造、腎臓の機能と働きについて説明することができる。	動物看護の教科書 第2巻 P17-62 P84-86
14		講義・演習	前期テスト(筆記試験)60点以上合格	中間試験・練習問題の復習
15		講義・演習	振り返り(筆記試験できなかった問題をできるようにする)	前期試験問題の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書 第2巻 緑書房				

科目名	動物形態機能学 I 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 河南圭子
学科・コース	動物看護科 昼二三年制	授業 形態	講義	(単位)	2	
教員の略歴	① 獣医師 ② 製薬会社 創薬研究所勤務 (実験動物の安全性評価・毒性試験・病理検査担当)					
授業の学習 内容	動物看護の基盤となる動物のからだのしくみと生理機能について学習する。動物の病気を早期に発見または理解するには正常な動物の状態を知ることが大切であり、病的変化について学ぶ基盤を確立する。					
到達目標	① 哺乳動物・鳥類を中心とした正常な細胞、組織、器官の構造および機能を理解し説明することができる。 ② 光学顕微鏡下でのマイクロレベルでの細胞機能、組織構造を理解し、説明することができる。					
評価方法と基準	① 定期試験 50% (14週目に筆記試験を実施) ② 中間試験 20% (7週目に筆記試験を実施) ③ 授業態度・出席数 30%					

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	1年次の復習と練習問題	泌尿器系の復習・練習問題の見直し
2		講義・演習	内分泌器官を述べ、分泌するホルモンと機能を説明することができる。	動物看護の教科書 第2巻 P70-73
3		講義・演習	神経系の分類ができ、神経細胞の構造と名称を述べることができる。	動物看護の教科書 第2巻 P37-40
4		講義・演習	中枢神経に分類できる脳と脊髄の構造と各部名称・機能を説明することができる。	動物看護の教科書 第2巻 P37-40
5		講義・演習	末梢神経の分類と機能について説明することができる。	動物看護の教科書 第2巻 P37-40
6		講義・演習	感覚器 視覚・聴覚・味覚について構造と各部名称・機能について述べることができる。	動物看護の教科書 第2巻 P42-44
7		講義・演習	中間試験(筆記試験と解答・解説)	これまでの練習問題の復習
8		講義・演習	雄の生殖器の構造と各部名称を説明できる。	動物看護の教科書 第2巻 P76
9		講義・演習	雌の生殖器の構造と卵巣周期について説明することができる。	動物看護の教科書 第2巻 P76
10		講義・演習	犬と猫の性成熟と性周期を理解し、説明することができる。	配布プリントの復習・練習問題の見直し
11		講義・演習	犬と猫の妊娠可能時期と交配時期と妊娠期間、分娩過程を説明することができる。	配布プリントの復習・練習問題の見直し
12		講義・演習	エキゾチックアニマルと鳥類の繁殖について排卵形式、妊娠期間、子宮形態の違いについて説明できる	配布プリントの復習・練習問題の見直し
13		講義・演習	遺伝子と器官発生のメカニズムについて説明できる。	配布プリントの復習・練習問題の見直し
14		講義・演習	前期テスト(筆記試験) 60点以上合格	中間試験・練習問題の見直し
15		講義・演習	振り返り(筆記試験できなかった問題をできるようにする)	前期試験問題の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 動物看護の教科書 第2巻 緑書房				

科目名	動物臨床検査学 I 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江尻
学科・コース	動物看護科 昼二三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	認定動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習 内容	1年次で学んだ基本的な動物看護の知識や技術を確実に理解し、応用力を用いて実践出来るよう講義と演習を行います。授業内で学んだ知識や技術を活かし、人や動物とのコミュニケーションを円滑に行うことで、より良い看護やサポート、アドバイスが可能になります。 動物看護の知識や技術を正しく理解し習得する事で、他者(病院スタッフや飼い主)との情報共有やアドバイスが的確に行えるようになるため、コミュニケーション能力も習得出来る事が本授業の特徴です。						
到達目標	1) 動物病院での診療補助業務について理解し、書類の記入や診療補助、臨床検査の準備が出来る。 2) 犬・猫・ウサギ・ハムスター等の解剖整理を学び、保定に必要な技術を習得する事が出来る。 3) 器機の仕組み・操作法を学び、必要な準備や保定が出来る。 4) 薬剤についての知識や調剤の技術を習得する事が出来る。 5) 衛生管理についての知識を習得する事が出来る。						
評価方法と基準	1) 定期試験60%(14週目に筆記試験を実施) 2) 小テスト30%(12週目に実施 筆記試験5% 実技試験25%) 3) 出席数・授業中の態度10%(授業内での質問に対し、積極的に発言が出来る。また、演習の際に必要な 備品や動物等の準備を積極的に行う事が出来る)						

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義	調剤(薬剤の標記・分類等をの知識を習得する事が出来る)	動物看護の教科書第3巻を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
2	10月11日	講義	調剤(薬剤の管理・略語等の知識を習得する事が出来る)	動物看護の教科書第3巻を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
3	10月18日	講義	調剤(カルテの処方を読み、薬剤計算をする事が出来る)	動物看護の教科書第3巻を熟読し、予習 復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
4	10月25日	演習	調剤(薬剤を正しく取り扱い、正確に準備出来るように手技を習得する事が出来る)	動物看護の教科書第3巻を熟読し、予習 復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
5	11月1日	講義	調剤(様々な薬剤の投薬法を習得する事が出来る)	動物看護の教科書第3巻を熟読し、予習 復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
6	11月8日	演習	調剤(様々な動物に対して薬剤の投薬法を習得する事が出来る)	動物看護の教科書第3巻を熟読し、予習 復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
7	11月15日	演習	調剤(様々な動物に対して薬剤の投与法を習得する事が出来る)	動物看護の教科書第3巻を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
8	11月22日	講義	検査機器(検査・治療に使用する機器や器具の名称や取り扱い方法を習得する事が出来る)	動物看護の教科書第5巻を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
9	11月29日	講義	検査機器(検査・治療に使用する機器や器具の名称や取り扱い方法を習得する事が出来る)	動物看護の教科書第5巻を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
10	12月6日	講義	検査機器(検査・治療に使用する機器や器具の名称や取り扱い方法を習得する事が出来る)	動物看護の教科書第5巻を熟読し、予習 復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
11	12月13日	講義	検査機器(検査・治療に使用する機器や器具の名称や取り扱い方法を習得する事が出来る)	動物看護の教科書第5巻を熟読し、予習 復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
12	12月20日	小テスト	小テスト(各単元の理解度を筆記試験にて行う。)	動物看護の教科書第5巻を熟読し、予習 復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
13	1月17日	講義	検査機器(検査・治療に使用する機器や器具の名称や取り扱い方法を習得する事が出来る)	動物看護の教科書第5巻を熟読し、予習 復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
14	1月24日	試験	後期期末試験(筆記試験)	動物看護の教科書を熟読し、予習 復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
15	1月31日	講義	振り返り(答案用紙の返却・解答をして、出来なかったところを正しく習得する事が出来る。)	動物看護の教科書を熟読し、予習 復習を行う事で知識を習得する事が出来る (2h)
準備学習 時間外学習			自主学习で充当	
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書(緑書房)等・検査器機や備品等・配布プリント等				

科目名	動物臨床検査学 I 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科昼二3年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	獣医師（動物病院勤務）						
授業の学習 内容	動物病院で動物看護師として自信をもって働けるよう、主に血液検査・糞便検査・尿検査などの臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナー様からの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	1. 『健康な動物』について知ることが出来る 2. 臨床検査について理解することが出来る 3. 臨床検査結果について理解することが出来る 4. 獣医師の指導のもと、オーナー様への的確な指導をすることが出来る						
評価方法と基準	1. 定期試験：50% 2. 提出物及び確認テスト：20%（提出物は内容によって5点までの減点を行う・確認テストの点は評価しない） 3. 飼育当番への参加：10%（1回の欠席・遅刻に関して1点の減点を行う） 4. 授業中の態度・参加意欲：20%（参加意欲が低いことに対して1点の減点を行う） ※1回の欠席・遅刻・早退に対して1点の減点を行う						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月12日	講義	動物看護師の仕事内容を理解できる	テキストP10-15.教科書1巻P70-90熟読 確認テスト①の勉強
2	4月19日	講義	身体一般検査を理解できる	テキストP68-70.P89・教科書1巻P100.104.4巻P10-19.プリント熟読 確認テスト②の勉強
3	4月26日	講義・演習	身体一般検査を評価できる	教科書1巻P70-92.P100-104.プリント熟読 確認テスト③の勉強
4	5月10日	講義・演習	身体検査の実施・評価・報告ができる	テキストP71.教科書3巻150-180.4巻P9-23.プリント熟読 確認テスト④の勉強
5	5月17日	講義	動物の保定について理解できる	テキストP60-67.教科書4巻P24-28・プリント熟読 確認テスト⑤の勉強
6	5月31日	講義	検査機器の使用手順・各部名称が理解できる 簡易染色の手順を理解できる	テキストP131-135.P144.教科書5巻P166-168.177.プリント熟読 確認テスト⑥の勉強
7	6月14日	講義	尿検査の必要性・実施方法・評価について理解できる	テキストP154-159.P127-128.教科書5巻P211-217.プリント熟読 確認テスト⑦の勉強・飼育当番参加
8	6月21日	講義	糞便検査の必要性・実施方法・評価について理解できる	テキストP160-165.P129.教科書5巻P206-210.配布プリント熟読 確認テスト⑧の勉強・飼育犬・飼育猫のバイタルチェック
9	6月28日	小テスト	振り返り・復習が出来る（前期の評価対象外） 注射器の取り扱い注意点を知らることができる	配布プリント熟読・確認テスト①～⑧まで復習 飼育犬・飼育猫について詳細情報を整理
10	7月5日	講義	採血時の保定について理解できる 血液処理について理解・実施できる	テキストP106-109.P122-127.教科書4巻P37-44.5巻P239-242 配布プリント熟読・確認テスト⑨の勉強・飼育当番参加
11	7月12日	講義	ヘマトクリット管の実施方法・評価について理解できる	テキストP139-141.教科書5巻P174-178 配布プリント熟読・確認テスト⑩の勉強・課題ノート製作
12	7月19日	講義	セルタックの実施方法・評価について理解できる 血液検査（ヘマトクリット管）ができる	テキストP138.教科書5巻P178-180.配布プリントの熟読 課題ノート作成
13	9月6日	講義	血液検査（セルタック・ヘマトクリット管）ができる	前期試験に向けての勉強 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
14	9月13日	試験	前期試験の実施（筆記）	飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
15	9月20日	講義	振り返り	誤答の再確認 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
準備学習 時間外学習			飼育当番で充当	
【使用教科書・教材・参考書】 動物看護実習テキスト・筆記用・電卓・実習着・動きやすい靴・配布プリント・動物看護の教科書1.3.4.5巻				

科目名	動物臨床検査学実習 I 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科昼二3年制	授業 形態	演習	単位	1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	動物病院で動物看護師として自信をもって働けるよう、主に血液検査・糞便検査・尿検査などの臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナー様からの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	1. 『健康な動物』について知ることが出来る 2. 臨床検査について理解することが出来る 3. 臨床検査結果について理解することが出来る 4. 獣医師の指導のもと、オーナー様への的確な指導をすることが出来る						
評価方法と基準	1. 定期試験:50% 2. 提出物及び確認テスト:20%(提出物は内容によって5点までの減点を行う・確認テストの点は評価しない) 3. 飼育当番への参加:10%(1回の欠席・遅刻に関して1点の減点を行う) 4. 授業中の態度・参加意欲:20%(参加意欲が低いことに対して1点の減点を行う) ※1回の欠席・遅刻・早退に対して1点の減点を行う						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	動物看護師の仕事内容を理解できる	テキストP10-15.教科書1巻P70-90熟読 確認テスト①の勉強
2		講義	身体一般検査を理解できる	テキストP68-70.P89・教科書1巻P100.104.4巻P10-19.プリント熟読 確認テスト②の勉強
3		講義・演習	身体一般検査を評価できる	教科書1巻P70-92.P100-104.プリント熟読 確認テスト③の勉強
4		講義・演習	身体検査の実施・評価・報告ができる	テキストP71.教科書3巻150-180.4巻P9-23.プリント熟読 確認テスト④の勉強
5		講義	動物の保定について理解できる	テキストP60-67.教科書4巻P24-28・プリント熟読 確認テスト⑤の勉強
6		講義	検査機器の使用手順・各部名称が理解できる 簡易染色の手順を理解できる	テキストP131-135.P144.教科書5巻P166-168.177.プリント熟読 確認テスト⑥の勉強
7		講義	尿検査の必要性・実施方法・評価について理解できる	テキストP154-159.P127-128.教科書5巻P211-217.プリント熟読 確認テスト⑦の勉強・飼育当番参加
8		講義	糞便検査の必要性・実施方法・評価について理解できる	テキストP160-165.P129.教科書5巻P206-210.配布プリント熟読 確認テスト⑧の勉強・飼育犬・飼育猫のバイタルチェック
9		小テスト	振り返り・復習が出来る(前期の評価対象外) 注射器の取り扱い注意点を知らることができる	配布プリント熟読・確認テスト①～⑧まで復習 飼育犬・飼育猫について詳細情報を整理
10		講義	採血時の保定について理解できる 血液処理について理解・実施できる	テキストP106-109.P122-127.教科書4巻P37-44.5巻P239-242 配布プリント熟読・確認テスト⑨の勉強・飼育当番参加
11		講義	ヘマトクリット管の実施方法・評価について理解できる	テキストP139-141.教科書5巻P174-178 配布プリント熟読・確認テスト⑩の勉強・課題ノート製作
12		講義	セルタックの実施方法・評価について理解できる 血液検査(ヘマトクリット管)ができる	テキストP138.教科書5巻P178-180.配布プリントの熟読 課題ノート作成
13		講義	血液検査(セルタック・ヘマトクリット管)ができる	前期試験に向けての勉強 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
14		試験	前期試験の実施(筆記)	飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
15		講義	振り返り	誤答の再確認 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
準備学習 時間外学習			飼育当番で充当	
【使用教科書・教材・参考書】 動物看護実習テキスト・筆記用・電卓・実習着・動きやすい靴・配布プリント・動物看護の教科書1.3.4.5巻				

科目名	動物臨床検査学実習 I 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科 昼二三年制	授業 形態	演習	単位	1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	動物病院で動物看護師として自信をもって働けるよう、主に血液検査・糞便検査・尿検査などの臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナー様からの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	1. 『健康な動物』について知ることが出来る 2. 臨床検査について理解することが出来る 3. 臨床検査結果について理解することが出来る 4. 獣医師の指導のもと、オーナー様への的確な指導をすることが出来る						
評価方法と基準	1. 定期試験:50% 2. 提出物及び確認テスト:20%(提出物は内容によって5点までの減点を行う・確認テストの点は評価しない) 3. 飼育当番への参加:10%(1回の欠席・遅刻に関して1点の減点を行う) 4. 授業中の態度・参加意欲:20%(参加意欲が低いことに対して1点の減点を行う) ※1回の欠席・遅刻・早退に対して1点の減点を行う						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	動物看護師の仕事内容を理解できる	テキストP10-15.教科書1巻P70-90熟読 確認テスト①の勉強
2		講義	身体一般検査を理解できる	テキストP68-70.P89・教科書1巻P100.104.4巻P10-19.プリント熟読 確認テスト②の勉強
3		講義・演習	身体一般検査を評価できる	教科書1巻P70-92.P100-104.プリント熟読 確認テスト③の勉強
4		講義・演習	身体検査の実施・評価・報告ができる	テキストP71.教科書3巻150-180.4巻P9-23.プリント熟読 確認テスト④の勉強
5		講義	動物の保定について理解できる	テキストP60-67.教科書4巻P24-28・プリント熟読 確認テスト⑤の勉強
6		講義	検査機器の使用手順・各部名称が理解できる 簡易染色の手順を理解できる	テキストP131-135.P144.教科書5巻P166-168.177.プリント熟読 確認テスト⑥の勉強
7		講義	尿検査の必要性・実施方法・評価について理解できる	テキストP154-159.P127-128.教科書5巻P211-217.プリント熟読 確認テスト⑦の勉強・飼育当番参加
8		講義	糞便検査の必要性・実施方法・評価について理解できる	テキストP160-165.P129.教科書5巻P206-210.配布プリント熟読 確認テスト⑧の勉強・飼育犬・飼育猫のバイタルチェック
9		小テスト	振り返り・復習が出来る(前期の評価対象外) 注射器の取り扱い注意点を知ることができる	配布プリント熟読・確認テスト①～⑧まで復習 飼育犬・飼育猫について詳細情報を整理
10		講義	採血時の保定について理解できる 血液処理について理解・実施できる	テキストP106-109.P122-127.教科書4巻P37-44.5巻P239-242 配布プリント熟読・確認テスト⑨の勉強・飼育当番参加
11		講義	ヘマトクリット管の実施方法・評価について理解できる	テキストP139-141.教科書5巻P174-178 配布プリント熟読・確認テスト⑩の勉強・課題ノート製作
12		講義	セルタックの実施方法・評価について理解できる 血液検査(ヘマトクリット管)ができる	テキストP138.教科書5巻P178-180.配布プリントの熟読 課題ノート作成
13		講義	血液検査(セルタック・ヘマトクリット管)ができる	前期試験に向けての勉強 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
14		試験	前期試験の実施(筆記)	飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
15		講義	振り返り	誤答の再確認 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
準備学習 時間外学習			飼育当番で充当	
【使用教科書・教材・参考書】 動物看護実習テキスト・筆記用・電卓・実習着・動きやすい靴・配布プリント・動物看護の教科書1.3.4.5巻				